(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2006-232190
(P2006-232190A)
(43)公開日　平成18年9月7日(2006.9.7)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
B60R 7/04	(2006.01)	B60R	7/04	C	3D022
B60R 16/02	(2006.01)	B60R	16/02	610A	

審査請求 未請求　請求項の数 6　OL　（全 10 頁）

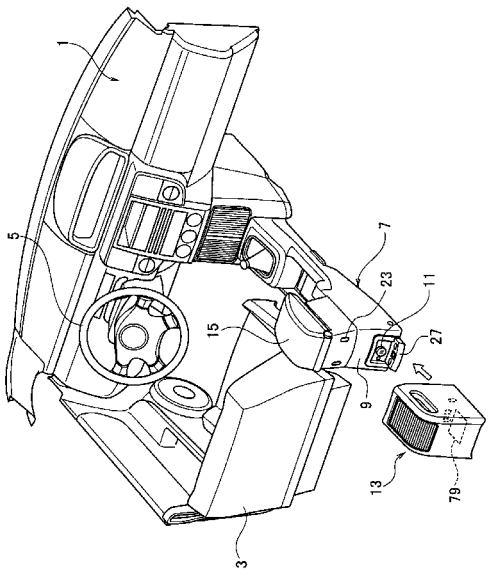
(21)出願番号　特願2005-52273(P2005-52273)
(22)出願日　平成17年2月28日(2005.2.28)

(71)出願人　000003997
日産自動車株式会社
神奈川県横浜市神奈川区宝町２番地
(74)代理人　100083806
弁理士　三好　秀和
(74)代理人　100100712
弁理士　岩▲崎▼　幸邦
(74)代理人　100100929
弁理士　川又　澄雄
(74)代理人　100095500
弁理士　伊藤　正和
(74)代理人　100101247
弁理士　高橋　俊一
(74)代理人　100098327
弁理士　高松　俊雄

最終頁に続く

(54)【発明の名称】車両用コンソールボックス

(57)【要約】
【課題】　後部座席の乗員も好適に使用することができる車両用コンソールボックスを提供する。
【解決手段】　車両室内の前部座席側に前席用コンソールボックス７を設け、該前席用コンソールボックス７の後壁面９に後席用コンソールボックス１３の前面を着脱自在に組み付けるようにした車両用コンソールボックスである。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両室内の前部座席側に前席用コンソールボックスを設け、該前席用コンソールボックスの後部側に後席用コンソールボックスを着脱自在に設けたことを特徴とする車両用コンソールボックス。
【請求項２】
前記前席用コンソールボックスの後壁面を後方に凸状に突出する湾曲面に形成する一方、前記後席用コンソールボックスの前面を、前記前席用コンソールボックスの後壁面に合致する凹状の湾曲面に形成し、後席用コンソールボックスの前面を前席用コンソールボックスの後壁面に近接配置させた状態で後席用コンソールボックスを取り付けたことを特徴とする請求項１に記載の車両用コンソールボックス。
【請求項３】
前記前席用コンソールボックスの後壁面の下端部に電源供給部を設ける一方、この電源供給部に対応する前記後席用コンソールボックスの前面の下端部に、電源供給部用開口部を対向配置したことを特徴とする請求項１又は２に記載の車両用コンソールボックス。
【請求項４】
前記電源供給部用開口部をドア部材を用いて開閉自在に構成したことを特徴とする請求項１～３のいずれか１項に記載の車両用コンソールボックス。
【請求項５】
前記後席用コンソールボックスの前面に係止片を設ける一方、前席用コンソールボックスの後壁面に、前記係止片に係合する係止穴を形成したことを特徴とする請求項１～４のいずれか１項に記載の車両用コンソールボックス。
【請求項６】
前記後席用コンソールボックスの底面に、車両用床面に結合自在の結合部材を設けると共に、後席用コンソールボックスを車両用床面上に配設したことを特徴とする請求項５に記載の車両用コンソールボックス。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、車両用コンソールボックスに関し、更に詳しくは、車両の後部座席に着座した乗員が使用する後席用コンソールボックスに関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、車両室内の前部座席側に配設される着脱自在の前席用コンソールボックスが知られている。この前席用コンソールボックスの底面には、フック状取付具及びブッシュ状取付具が設けられる一方、車両のフロアパネル側には取付穴が穿設され、該取付穴にフック受け部及びブッシュ受け部を設けている（例えば、特許文献１参照）。
【０００３】
そして、これらのフック受け部及びブッシュ受け部に、前席用コンソールボックスのフック状取付具及びブッシュ状取付具を組み付けることによって、前席用コンソールボックスを車両の床面に着脱自在に取り付けている。
【特許文献１】特開２００２－１５４３８１公報
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
しかしながら、前記従来例は、車両の前部座席に着座した乗員が使用するための前部座席用コンソールボックスであるため、車両の後部座席に着座した乗員は非常に使いにくいという問題がある。
【０００５】
そこで、本発明は、後部座席の乗員が好適に使用することができる車両用コンソールボ

ックスを提供することを目的としている。
【課題を解決するための手段】
【０００６】
前記目的を達成するために、本発明に係る車両用コンソールボックスは、車両室内の前部座席側に前席用コンソールボックスを設け、該前席用コンソールボックスの後側に後席用コンソールボックスを着脱自在に設けたことを特徴としている。
【発明の効果】
【０００７】
本発明に係る車両用コンソールボックスによれば、車両の後部座席に着座した乗員が好適に後席用コンソールボックスを使用することができる。また、後席用コンソールボックスが不要な場合は取り外しておくことによって、車両室内の後部座席側のスペースを広くとることができる。
【発明を実施するための最良の形態】
【０００８】
以下、本発明の実施形態を図面と共に詳述する。
【０００９】
図１は本発明の実施形態による車両用コンソールボックスが配設された車両室内の前部を示す斜視図、図２は後席用コンソールボックスを前席用コンソールボックスに取り付けた状態を示す斜視図である。
【００１０】
図１に示すように、車両室内の前端部には、車幅方向に沿ってインストルメントパネル１が配設されている。この車両は、運転者が着座するフロントシート３が車幅方向の左側に配置されており、インストルメントパネル１の左側にステアリングホイール５が回動自在に支持されている。また、左右のフロントシート３，３の間（車幅方向中央）には、車両前後方向に沿って前席用コンソールボックス７が延設されている。
【００１１】
また、前席用コンソールボックス７の後壁面９の下端部には、電源供給部である電源ソケット１１が設けられ、前席用コンソールボックス７の後部には後席用コンソールボックス１３が着脱自在に取り付けられる。
【００１２】
図２に示すように、この前席用コンソールボックス７の上端部には、リッド１５が回動軸１７を中心に回動自在に設けられており、前記リッド１５の上面に乗員の肘を載置することができる。
【００１３】
図３は後席用コンソールボックスを前席用コンソールボックスから取り外した状態を示す斜視図、図４は後席用コンソールボックスを斜め前方から見た斜視図、図５は後席用コンソールボックスを斜め後方から見た斜視図である。
【００１４】
図３に示すように、前席用コンソールボックス７の後壁面９は、上側に配置された上部側後壁面１９と、下側に配置された下部側後壁面２１とから構成されており、これらの上部側後壁面１９及び下部側後壁面２１は共に、後方に突出する凸状の湾曲面に形成されている。また、上部側後壁面１９の左右両側部には、上下方向に延びる長穴からなる係止ピン用係止穴２３が穿設されており、下部側後壁面２１の下端部には車幅方向中央部に凹部２５が形成され、該凹部２５には電源ソケット１１が配設されている。この凹部２５の下部には、延設部２７が後方に延びており、該延設部２７の上面には、左右にロケートピン用受け穴２９、中央には支持ピン用受け穴３１が穿設されている。
【００１５】
また、図３，４に示すように、後席用コンソールボックス１３の前面３３は、上側に配置された上部側前面３５と、下側に配置された下部側前面３７とから構成されており、この上部側前面３５は、前席用コンソールボックス７の上部側後壁面１９に対応し、下部側

前面３７は前席用コンソールボックス７の下部側後壁面２１に対応する位置に配置されている。そして、上部側前面３５には、前方に突出する係止ピン３９が左右一対に設けられ、下部側前面３７の下端からロケートピン４１及び支持ピン４３が下方に向けて延びている。具体的には、左右に一対のロケートピン４１が設けられ、中央に支持ピン４３が設けられている。

【００１６】

そして、後席用コンソールボックス１３の係止ピン３９は、前席用コンソールボックス７の係止ピン用係止穴２３に挿入及び係止される。一方、後席用コンソールボックス１３のロケートピン４１及び支持ピン４３は、前席用コンソールボックス７のロケートピン用受け穴２９及び支持ピン用受け穴３１に挿入されて係止される。

【００１７】

また、下部側前面３７の下端部には、矩形状の電源供給部用開口部４５が形成され、該電源供給部用開口部４５は、前席用コンソールボックス７の凹部２５に対応した位置に配置されている。さらに、後席用コンソールボックス１３の側面４７の上部には、前後方向に延びる長手状凹部に形成された取手部４９が設けられている。

【００１８】

そして、図５に示すように、後席用コンソールボックス１３の上面５１から後面５３の上端部にかけて、大きな開口５５が形成されており、該開口５５は、スライド形式のシャッター５７によって開閉自在に構成されている。なお、シャッター５７の前端には、上方に突出する把持部５９が形成されている。

【００１９】

図６は、図２のＡ－Ａ線による拡大断面図である。

【００２０】

前席用コンソールボックス７の上部側後壁面１９は、後方斜め上方に延びる傾斜面に形成されており、これに対応する後席用コンソールボックス１３の上部側前面３５も後方斜め上方に延びる傾斜面に形成されている。これと同様に、前席用コンソールボックス７の下部側後壁面２１は、後方斜め下方に延びる傾斜面に形成されており、これに対応する後席用コンソールボックス１３の下部側前面３７も後方斜め下方に延びる傾斜面に形成されている。このように、前席用コンソールボックス７の後壁面９は、後席用コンソールボックス１３の後面５３とほぼ平行に配置されている。

【００２１】

また、前席用コンソールボックス７の内部は、小物入れ用収納部に形成されており、該小物入れ用収納部の底面６５の下側には、電源ソケット１１及び該電源ソケット１１に接続された配線６７が配策されている。

【００２２】

後席用コンソールボックス１３の前面３３に形成された電源供給部用開口部４５は、上下にスライド自在のドア部材６９によって開閉自在に構成されている。このドア部材６９の上端には、屈曲して後方に延びる把持部７１が形成されており、該把持部７１に指先を掛けて上方に持ち上げると、電源供給部用開口部４５が開口され、電源ソケット１１に図外のコンセントを差し込むことができる。後席用コンソールボックス１３の底面７３には、所定間隔をおいて複数のリブ７５が立設されており、これらのリブ７５が床面の車両用フロアカーペット７７によって支持されている。そして、後席用コンソールボックス１３の後部の底面７３には、車両用床面であるフロアカーペットに結合自在の結合部材７９、例えば、テープ状のマジックファスナー（登録商標）を取り付けている。後席用コンソールボックス１３は、車両用フロアカーペット７７上に配置されるため、後席用コンソールボックス１３を前席用コンソールボックス７の後部に組み付けると、後席用コンソールボックス１３の後部の底面７３が、前記結合部材７９を介して車両用フロアカーペット７７に固定される。

【００２３】

なお、後席用コンソールボックス１３のシャッター５７は、後席用コンソールボックス

１３の後端部に設けた開口８１から格納される。

【００２４】

以下に、後席用コンソールボックス１３を前席用コンソールボックス７に組み付ける手順を簡単に説明する。

【００２５】

図７は後席用コンソールボックスを前席用コンソールボックスに組み付ける前の状態を示す斜視図、図８は後席用コンソールボックスを前席用コンソールボックスに組み付けている途中の状態を示す斜視図、図９は後席用コンソールボックスの組付けが完了した状態を示す斜視図である。

【００２６】

まず、図７に示すように、後席用コンソールボックス１３の取手部４９に指先を挿入して取手部４９を把持し、上方に持ち上げて前席用コンソールボックス７の後部に持っていく。

【００２７】

次いで、図８に示すように、後席用コンソールボックス１３の前面３３を前席用コンソールボックス７の後壁面９に突き当てると、後席用コンソールボックス１３の係止ピン３９は前席用コンソールボックス７の係止ピン用係止穴２３に挿入及び係止される。

【００２８】

そして、図９に示すように、後席用コンソールボックス１３を下方に降ろすと、後席用コンソールボックス１３の下端部に設けられたロケートピン４１及び支持ピン４３は、前席用コンソールボックス７のロケートピン用受け穴２９及び支持ピン用受け穴３１にそれぞれ挿入される。また、後席用コンソールボックス１３の底面７３には、結合部材７９が取り付けられているため、後席用コンソールボックス１３を車両用フロアカーペット７７の上に載置すると、後席用コンソールボックス１３の後部の底面７３は車両用フロアカーペット７７に固定される。

【００２９】

これによって、後席用コンソールボックス１３を、前席用コンソールボックス７に組み付けると共に車両用フロアカーペット７７に固定することができる。

【００３０】

以下に、本発明の実施形態による作用効果を説明する。

【００３１】

車両室内の前部座席側に前席用コンソールボックス７を設け、該前席用コンソールボックス７の後端に後席用コンソールボックス１３を着脱自在に設けているため、車両の後部座席に着座した乗員が好適に後席用コンソールボックス１３を使用することができる。また、後席用コンソールボックス１３が不要な場合は取り外しておくことによって、車両室内の後部座席側を広くとることができる。

【００３２】

前記前席用コンソールボックス７の後壁面９を後方に凸状に突出する湾曲面に形成する一方、前記後席用コンソールボックス１３の前面３３を、前記前席用コンソールボックス７の後壁面９に合致する凹状の湾曲面に形成し、後席用コンソールボックス１３の前面３３を前席用コンソールボックス７の後壁面９に近接配置させた状態で後席用コンソールボックス１３を取り付けている。このため、後席用コンソールボックス１３を前席用コンソールボックス７の後端に取り付けたときに、前席用コンソールボックス７の後壁面９に後席用コンソールボックス１３の前面３３が確実に嵌合し、左右のズレ等がなくなる。

【００３３】

前記前席用コンソールボックス７の後壁面９の下端部に電源ソケット（電源供給部）１１を設ける一方、この電源ソケット１１に対応する前記後席用コンソールボックス１３の前面３３の下端部に、電源供給部用開口部４５を対向配置している。このため、後席用コンソールボックス１３の電源供給部用開口部４５からコンセントを挿入し、前席用コンソールボックス７の電源ソケット１１に差し込むことによって、後部座席の乗員も電化製品

を使用することができる。また、電源ソケット１１を前席用コンソールボックス７の下端部に配置しているため、前席用コンソールボックス７の収容部空間を大きく設定することができる。

【００３４】

前記電源供給部用開口部４５をドア部材６９を用いて開閉自在に構成しているため、電源ソケット１１を使用しない通常時は、ドア部材６９を閉じておき、電源ソケット１１を使用するときは、ドア部材６９を開けておくという使い分けができる。通常時にドア部材６９を閉じておけば、後席用コンソールボックス１３を使用する場合に、電源供給部用開口部４５から外側が見えないため、外観向上を図ることができる。

【００３５】

前記後席用コンソールボックス１３の前面３３に係止片（係止ピン３９、支持ピン４３、ロケートピン４１）を設ける一方、前席用コンソールボックス７の後壁面９に、前記係止片に係合する係止穴（係止ピン用係止穴２３、ロケートピン用受け穴２９、支持ピン用受け穴３１）を形成している。

【００３６】

これにより、後席用コンソールボックス１３の前面３３を前席用コンソールボックス７の後壁面９に効率的に組み付けることができる。

【００３７】

前記後席用コンソールボックス１３の底面７３に、フロアカーペットに結合自在の結合部材７９を設けると共に、後席用コンソールボックス１３を車両用フロアカーペット７７上に配設しているため、後席用コンソールボックス１３の底面７３を車両用フロアカーペット７７に着脱自在に取り付けることができる。また、車両のフロアパネルに取付穴を穿設する必要もない。

【００３８】

なお、後席用コンソールボックス１３の側面４７には、凹状の取手部４９を形成しているため、乗員が後席用コンソールボックス１３を持ち運びやすく、脱着作業も容易である。

【図面の簡単な説明】

【００３９】

【図１】本発明の実施形態による車両用コンソールボックスが配設された車両室内の前部を示す斜視図である。

【図２】後席用コンソールボックスを前席用コンソールボックスに取り付けた状態を示す斜視図である。

【図３】後席用コンソールボックスを前席用コンソールボックスから取り外した状態を示す斜視図である。

【図４】後席用コンソールボックスを斜め前方から見た斜視図である。

【図５】後席用コンソールボックスを斜め後方から見た斜視図である。

【図６】図２のＡ－Ａ線による拡大断面図である。

【図７】後席用コンソールボックスを前席用コンソールボックスに組み付ける前の状態を示す斜視図である。

【図８】後席用コンソールボックスを前席用コンソールボックスに組み付けている途中の状態を示す斜視図である。

【図９】後席用コンソールボックスの組付けが完了した状態を示す斜視図である。

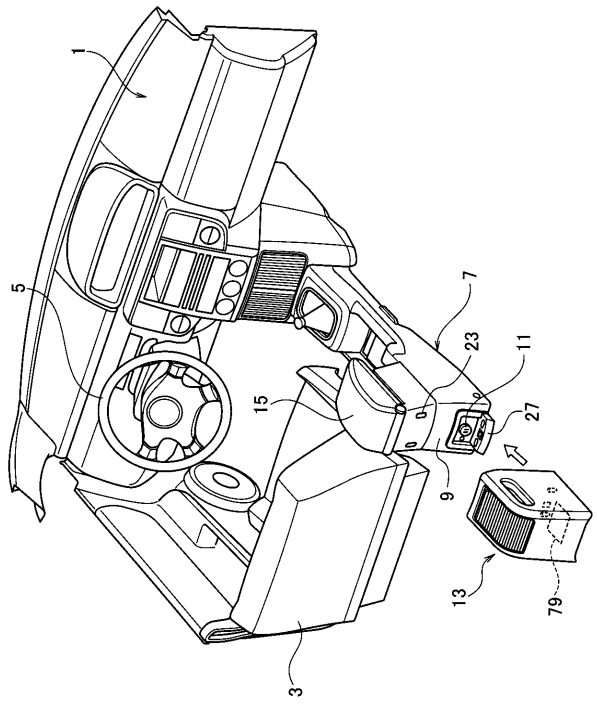
【符号の説明】

【００４０】

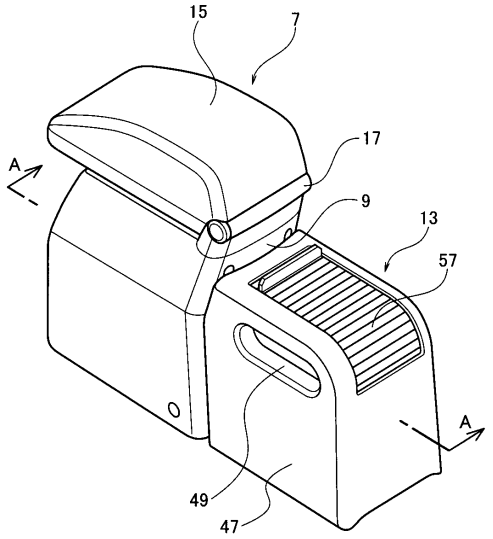
７…前席用コンソールボックス
９…後壁面
１１…電源ソケット（電源供給部）
１３…後席用コンソールボックス
２３…係止ピン用係止穴（係止穴）

２９…ロケートピン用受け穴（係止穴）
３１…支持ピン用受け穴（係止穴）
３３…前面
３９…係止ピン（係止片）
４１…ロケートピン（係止片）
４３…支持ピン（係止片）
４５…電源供給部用開口部
６９…ドア部材
７７…車両用フロアカーペット（車両用床面）
７９…結合部材

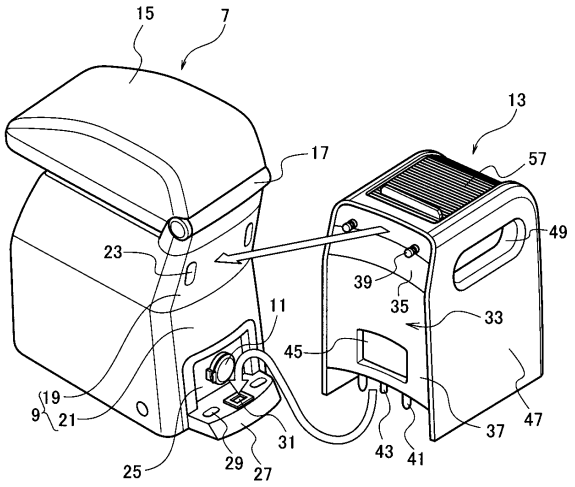
【図１】



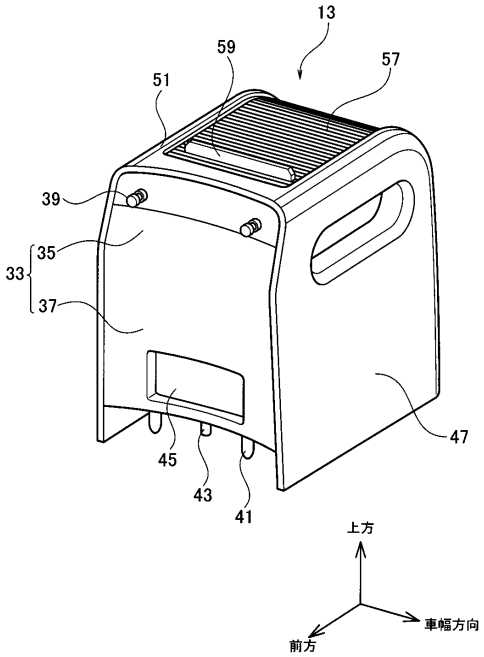
【図２】



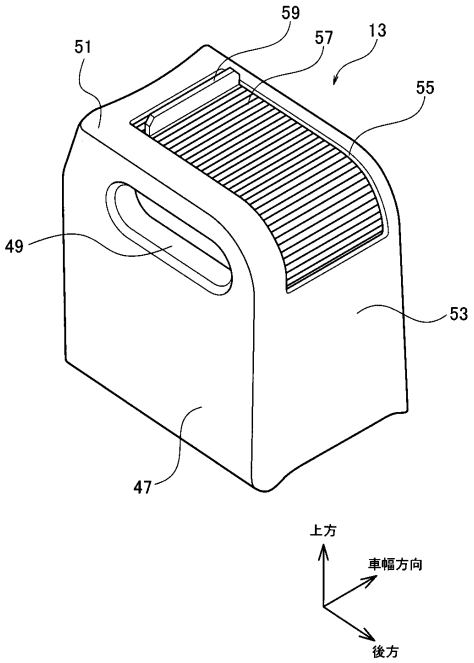
【図３】


15
7
17
13
57
49
23
39
35
33
11
45
19
9
21
31
37
47
25
29
27
43
41

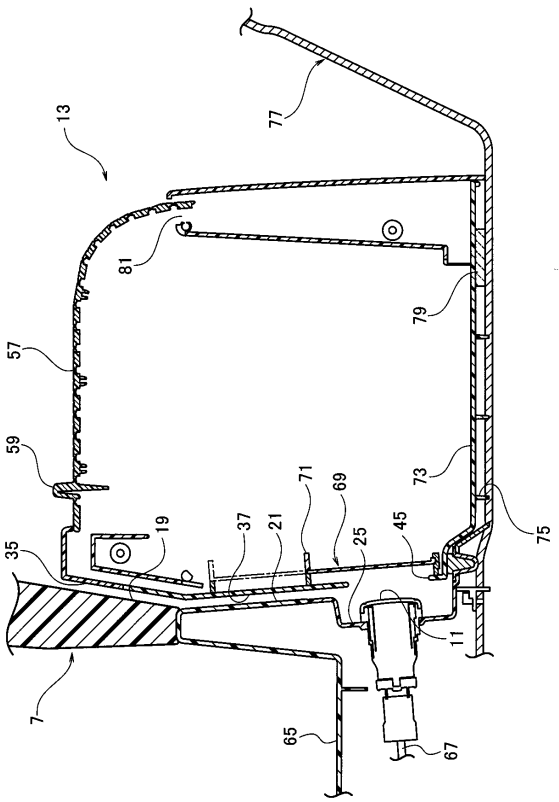
【図４】


13
59
57
51
39
35
33
37
47
45
43
41
上方
車幅方向
前方

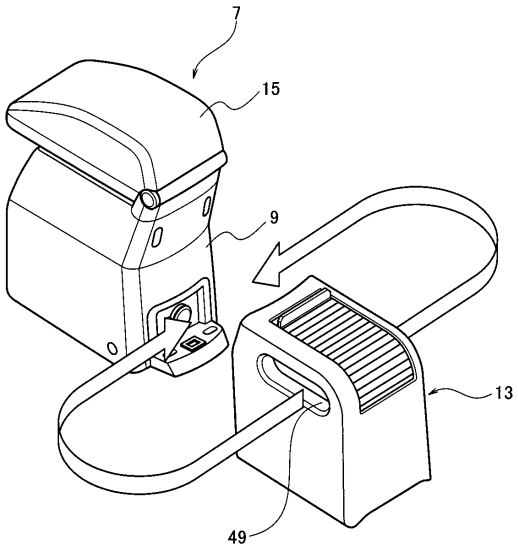
【図５】


59
57
13
51
55
49
53
47
上方
車幅方向
後方

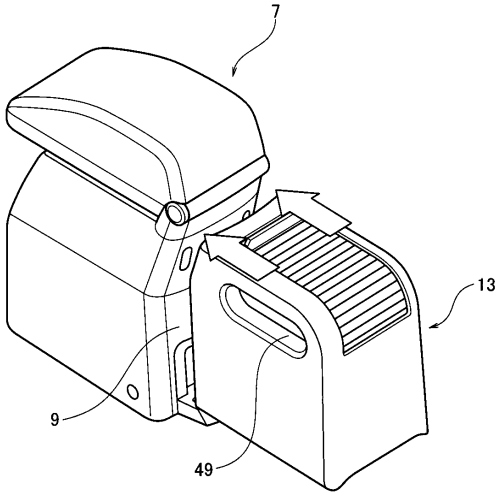
【図６】


77
13
81
79
57
59
73
71
69
75
19
37
21
25
45
35
11
7
65
67

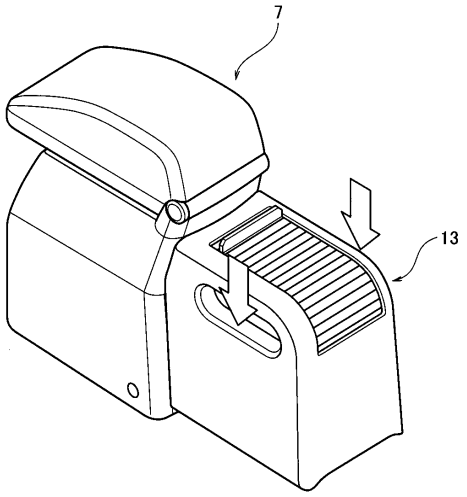
【図７】



【図８】



【図９】



フロントページの続き

(72)発明者　古沢　智
神奈川県横浜市神奈川区宝町２番地　日産自動車株式会社内
(72)発明者　渡辺　尚史
神奈川県座間市ひばりが丘５－５１－５　株式会社日産テクノ内

Ｆターム(参考) 3D022 CA07　CC18　CD05　CD09